

新宮山彦ぐるーぷ第1996回

榎木丸太運搬と防腐剤塗布作業及び

行仙宿の保守作業(毛布天日干し・薪作り・便所汲取り等)

◇実施日：2018年10月21日(日) 快晴

◇参加者：川島 功、橋本 梓、児嶋道夫、濱野兼吉、生熊敏男・

千満子、上村洋司・和美、大江加予子、畑林清子、

山川治雄、竹中卓治、奥村順夫、梶野照雄。 14名。

不安定な天気が続いたが、今日は久しぶりの秋晴れとなり、雲一つ無い青空が広がり気分も爽快になる。

児嶋さんの1屯トラック(濱野同乗)、川島車(橋本・大江・畑林同乗)と沖崎車(上村氏運転、上村・生熊夫妻同乗)の3台で新宮7時に出発。

下北山村から100本寄贈頂いた榎木丸太(L:2m、径10cm前後)残り80本は、下桑原にある下北山村・林産加工施設(製材所)に積載運搬に8時過ぎに到着すると、山川車(軽トラ)、奥村車(竹中同乗)が既に到着していた。

役場の方が立会いにいられて、榎木丸太20本結束の4結束荷はフォークリフトを使っての積み込みと余分な榎木丸太6本も運搬使用しても良いと言われて、所要があると先刻帰られたとの事。

沖崎車に積んであった庭掃除の際のコンテナとポリ袋で8杯位の落葉等のごみは、児嶋車に積んで来たので山川車の軽トラに積み替えて、児嶋車を空荷台にする。

竹中氏がフォークリフトを運転する技能があり操作して、20本結束榎木丸太を空荷の児嶋車に積み込む。上手い具合に荷台に20本結束榎木丸太が、2列2段に積み込む事が出来たので、バラ積みでは無いのでトラック荷台ロープでしっかり固定出来た。

だが榎木丸太86本積み込んだので、丸太1本約10kgだと860kg積みんでおり、それより重ければ過積載で地道が心配である。



20本結束榎木丸太をフォークリフトで積み込み



積み込み完了!



補給路登山口のガード脇に積んである防腐剤塗布済榎木丸太20本と杉丸太を除けて、本日運搬し防腐剤を塗布した榎木丸太積み保管場所を確保する為に、川島・沖崎車が先行し補給路登山口へ。児嶋車と一緒に山川・奥村車が同行して貰う。

先行組は、9時前に補給路登山口に到着し、防腐剤塗布榎木丸太20本は、モノレール終点に運搬する為、モノレール横に移動させ、杉丸太5本は転回スペースの端に移動し終えた頃に奥村車が到着し、児嶋車がバッテリー挙りなのかエンジンが停止し、梶野車とブースターケーブルで繋いで始動しているとのこと。



塗布済榎木丸太の移動



榎木丸太86本積載のトラックが到着し降ろす



心配したが児嶋車が9時10分に補給路登山口に到着する。防腐剤が塗り易い様に栈木丸太2本の上に横一列に並べて置き、防腐剤を小分けして、手分けして皆でハケ塗りする。



栈木丸太に皆で防腐剤を塗る

モノレールの背板を外すと、防腐剤塗布済栈木丸太20本が丁度一度に運搬出来る様になる。皆が防腐剤を塗布している間に梶野・川島でモノレール終点へ運搬する。



栈木丸太をモノレールで運搬し終点で降ろす

86本の塗布済栈木丸太

梶野氏に防腐剤塗布が終われば、数人モノレール終点に登って

来る様に伝えて、モノレール終点にデポの「くい丸」と荷揚げした防腐剤塗布栈木丸太で補給路補修の為、川島は大ハンマーとトンガの道具を取りに行仙宿へ。

10時半前に道具を持ってモノレール終点に着くと、大勢で防腐剤を塗ったので10時に塗布作業が終わり、生熊さん達女性陣が行仙宿の毛布を天日干しするとの事で、皆が行仙宿へ行く事になり登って来ているとのこと。

山川・竹中・生熊・川島が、モノレール下方の補給路を「くい丸」5本と防腐剤塗布栈木丸太4本を使って補修作業をする間に、毛布天日干しに先行して行仙宿に行ってもらおう。



「くい丸」と防腐剤塗布栈木丸太で補給路の補修

モノレールでザックを積んで来たが、ガードレール奥側に置いた川島のザックが積んで無く、モノレールで往復してザック持って一人遅れて行仙宿へ登って行くと、ガレの峪を過ぎた補給路地点で上村洋司氏が竹熊手で落葉・小石等を掻き除いて下さっておられ、行仙宿に11時15分頃に着くと毛布が天日干しされている。毛布が150枚強在り、行者堂前の立木にロープを張る作業に加勢する。気温15℃。

一段落した11時50分頃より昼食。梶野氏は脚立に立ったまま防犯カメラ内画像をパソコンに収録しているが、もう少しか

ると頑張っておられる。



補給路を熊手で掻き掃除



毛布の天日干し



一言に尽きる。



便所の汲取り作業



薪割り作業



斜木杉伐採と薪に小切る



脚立上でパソコンに収録中



昼食時の談笑風景



昼食後、児嶋さんがコーコーを淹れて下さり、女性陣からバームクーヘン・クッキー・チョコレート等の差し入れがある。又、児嶋さん銀杏を焼いて振舞って下さり、太って帰宅しそうだと言いたい？・・・会話も飛び交う和やかな休憩の一時を過ごす。その後、作業指示しなくとも各自がそれぞれ率先して天日干しの毛布叩き、薪作り、便所の汲取り、杉丸太の皮剥ぎ、チェーンソーで斜木杉の伐採と薪用に小切る作業等が行われる。これこそが奥駈道と各管理小屋の保守に肝心な事ことであり感謝！感謝！の

13時半過ぎから男性陣が天日干し毛布を宿内に運び入れ、女性陣が毛布を畳み収納して下さる。梅雨明け後度重なる台風の襲来により、毛布の湿りが気懸りだったが、大勢の参加で全ての毛布・枕が、天日干しが出来た事が思わぬ成果で大変有難いことである。本日、宿泊者1名が在り、暖かい毛布で快適に就寝出来ることであろう。

児嶋さんは、トラック荷台でコーヒートを淹れると先行下山され、戸締りをして14時10分に行仙宿から下山する。

下山時、上村洋司氏が第二ベンチ迄の補給路を掻き掃除して下さった事が判り、落葉での滑りや小石での足首ひねりの心配も無く歩ける様になり、塩爺さん(塩川正一郎先生)の行仙宿来宿以来(三三〇年〇月)の補給路の掻き掃除になった。

登山口に戻り、積上げた防腐剤塗布椀丸太86本の上に、雨に濡れない様にトタンを被せ、トタンが飛ばない様にガードレールにロープ3本を結わえて固定すると共に割木椀丸太を重石にする。

児嶋トラックに児嶋喫茶が開店し、椀丸太運搬と防腐剤塗布の主作業以外に、毛布の天日干し等の作業が出来た成果の行事が無事終え、コーヒで一息入れて各自が帰路に着いた。



男性陣が毛布取り込み



女性陣が毛布畳み



児嶋トラックに喫茶開店



本日の参加者

行動タイム

新宮7:00→8:10製材所8:30→8:55補給路登山口→9:10防腐剤塗
布作業10:00→10:55行仙宿(毛布干し作業等)→11:50昼食12:45
↓作業↓行仙宿14:10→14:40補給路登山口15:05→16:35新宮。

(記：川島、写真：川島・梶野)